

製品名: TAB2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80910

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	TAB2
別名	CHTD2; FLJ21885; KIAA0733; MAP3K7IP2; TAB2
遺伝子 ID	23118.0
SwissProt ID	Q9NYJ8
免疫原	大腸菌で発現したヒト TAB2 の精製された組み換え断片。

背景

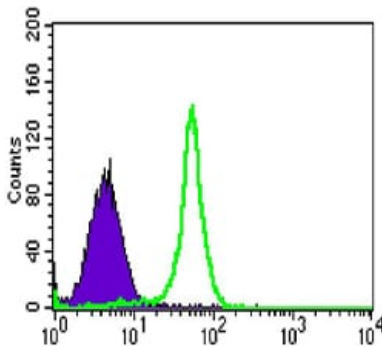
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IL-1 誘導性の核因子 κB および MAPK8/JNK の活性化に必要な MAP3K7/TAK1 の活性化因子である。このタンパク質は TRAF6、MAP3K7、TAB1 とキナーゼ複合体を形成し、MAP3K7 と TRAF6 を連結するアダプター

として機能する。また、このタンパク質、TAB1、および MAP3K7 は、NF- κ B 受容体活性化因子 (TNFRSF11A/RANK) の活性化を介して TNFSF11/RANK1 によって誘導されるシグナル伝達にも関与しており、破骨細胞の発達と機能を制御する可能性がある。

研究分野

MAPK シグナル伝達経路

画像データ



TAB2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。